

海外送金 ISO20022 移行について（送金依頼の変更）

海外送金にかかる代表的な決済ネットワーク国際送金サービスである SWIFT（国際銀行間通信協会）は、2023 年 3 月 20 日（*）より、従来の規格である MT フォーマットから、金融サービスの通信メッセージ標準である新たな MX フォーマット（ISO20022）へ順次移行する旨表明しています。銀行間で使用するデータフォーマットは MX フォーマット（ISO20022）に統一され、MT フォーマット（従来の規格）は 2025 年 11 月に廃止されるため、関西みらい銀行でも 2023 年 3 月 20 日より順次対応となります。

スケジュール詳細については決まり次第、別途お知らせいたします。

*SWIFT より：当初 2022 年 11 月から、2023 年 3 月へ延期となりました。

ISO20022 とは

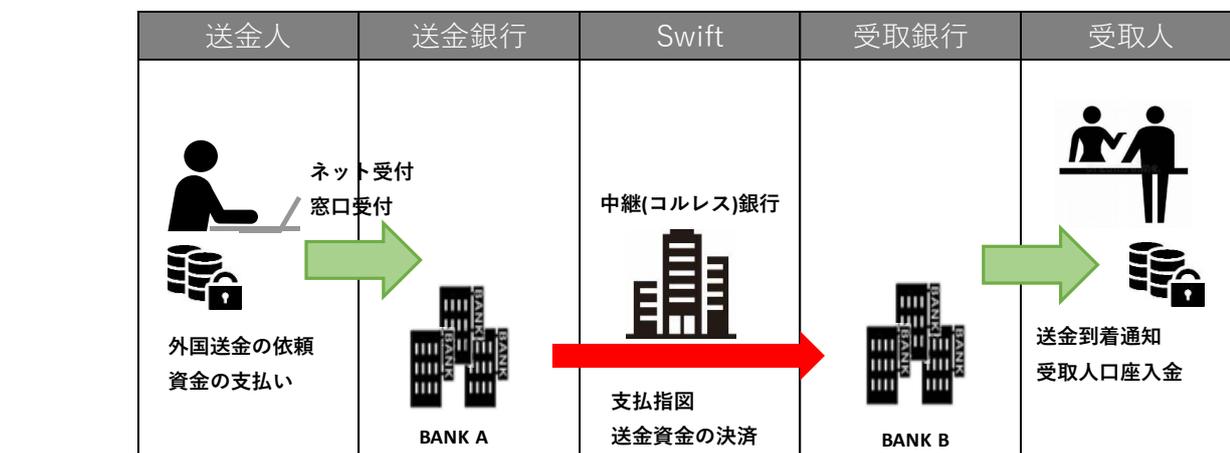
ISO20022 は、金融サービス情報の伝送に用いられる、金融通信メッセージフォーマットの国際標準規格で、お金のやり取りをするときには、「このような情報をこのように送受信してください」というルールです。送金に必要な情報だけでなく、お客さまの取引に関わるさまざまな情報を、共通の規格で送受信することが可能となります。

ISO20022 移行

従来の規格である MT フォーマットは、40 年以上も前に誕生したもので、現在においては機能的に限界があり手作業が必要なため、外国送金取引のプロセスを複雑にしてきました。また、国際的なアンチマネーローダリング（以下、AML）規制強化により、今後、課題が生じる可能性があります。これらの課題に対応するため、海外送金のデータフォーマットを新たな MX フォーマット（ISO20022）へ移行することにより、従来の規格に比べて柔軟性や拡張性に優れたデータ活用が期待でき、不正が防止され、データ分析精度やコンプライアンスの向上が期待されています。

海外送金の仕組み

海外送金は、「〇〇さんの口座に USDO〇を入金してください」という支払指図を SWIFT（国際銀行間通信協会）によるグローバルネットワークを介して銀行間でやり取りすることで実行、決済されています。



被仕向送金の影響について

2023年3月20日以降、MXフォーマット（ISO20022）が利用開始されました。2023年3月20日から2025年11月までの間はMTフォーマット（従来の規格）とMXフォーマット（ISO20022）との併存期間中となります。関西みらい銀行では、MXフォーマット（ISO20022）で到着した外国送金は、並存期間中、変換ルールに従いMTフォーマットに変換し、従来通りお客さまの口座へご入金をさせて頂いております。なお、MXフォーマット（ISO20022）で受信する情報は情報量増加が見込まれますので、全ての項目を到着案内明細には表示しきれない可能性があります。MTフォーマット（従来の規格）で項目毎に定められた文字数の上限値を超過した場合、送金人の住所など原データの一部しか表示されない場合もございますが、変換ルールに則って実施いたしますので、影響は限定的であると想定されます。

仕向送金の影響について

現在、関西みらい銀行ではMXフォーマット（ISO20022）での送金受付の開始時期を検討中です。2025年11月にMTフォーマット（従来の規格）の廃止が予定されており、移行期間の間は新旧フォーマットが併存することになります。海外送金においては、お客さまからいただく送金依頼のフォーマットにも変更（送金依頼人・送金受取人・受取銀行の住所情報の構造化と細分化）が生じるため、一部のお客さまにおかれましては、社内システムの更改が必要になる可能性がございます。ご了承お願いいたします。

貿易取引の影響について

現在発表されているMXフォーマット（ISO20022）移行スケジュールは、顧客送金（MT100番台）、銀行間送金（MT200番台）、資金管理（MT900番台）のみです。貿易取引で利用される信用状付・なし取引については、ISO20022に移行する予定はございません。

2023年6月現在